

令和5年 10月27日

令和5年度優良PTA文部科学大臣表彰および
PTA 活動功労者表彰について

この表彰はPTAの本来の目的・性格に照らし、特に優秀な実績を上げていると認められるものを優良PTAとして文部科学大臣が表彰するものです。

本年度の表彰について、文部科学省から連絡がありましたので下記のとおりお知らせします。

記

1 被表彰団体および表彰者

諫早市立有喜小学校 PTA

川棚町立川棚中学校 PTA

瀧添 なおみ (長崎市PTA連合会元会長)

山本 道雄 (長崎県PTA連合会前会長 諫早市 PTA 連合会元会長)

森 百合子 (佐世保市 PTA 連合会元会長)

2 表彰式

(1)日時 令和5年 11月 24日(金)

(2)場所 ホテルニューオータニ(東京都千代田区紀尾井町4番1号)

3 本県における過去の被表彰団体

年 度	被表彰団体
令和4年度	県立西彼杵高等学校育友会、真城小育友会、西海小PTA
令和3年度	長崎大学教育学部附属幼稚園育友会、喜々津小 PTA、西坂小育友会
令和2年度	飯盛東小PTA、千綿小PTA、県立佐世保中央高定時制夜間部PTA
令和元年度	飯野小育友会、高来西小PTA、県立佐世保工高PTA
平成30年度	みはる台小育友会、青島小中PTA、県立諫早特支PTA
平成29年度	野母崎小中一貫青潮学園PTA、県立西彼農高育友会

4 被表彰団体概要(令和4年度の実績)

【諫早市立有喜小学校PTA】

- 1 設立年月日 昭和22年4月1日
- 2 事務局現住所 長崎県諫早市有喜町800番地
- 3 会長名 田中 聡
- 4 令和4年度の主な実績

○PTA行事「Uki★うき☆サンデー」の考え方を变え、子ども主体の活動にした。

○朝の都合がつきやすい人は図書部、夜の会議の方が出やすい人は広報部、父親が参加しやすい家庭は校外補導部のように、それぞれの事情に配慮して分担した。

○長崎県PTA研究大会をはじめ、様々な研修会において、寸劇を用いて実践発表を行い、会員の積極さや特技を生かした会員相互の学びの場を創出した。

【川棚町立川棚中学校PTA】

- 1 設立年月日 昭和22年4月20日
- 2 事務局現住所 東彼杵郡川棚町中組郷1370番地3
- 3 会長名 篠原 康洋
- 4 令和4年度の主な実績

○校区内の3小学校と一緒に作った「川棚SNSルール」を普及させながら、メディアとの上手な付き合い方について、子どもだけでなく親も学ぶ姿勢が大切であることを啓発した。

○コロナ禍においても持続可能なPTA活動や、町教育委員会や校区内小学校と連携したPTA活動を推進した。

○地域の課題や少子化を視野に入れ、保護者や教師の負担軽減を図るPTA組織改編を行った。

5 被表彰者概要(令和4年度の実績)

【濱添 なおみ(長崎市PTA連合会 元会長)】

長崎市 PTA 連合会の会長として、連合会と教育委員会の潤滑な連携を図り、児童生徒の教育環境がよりよいものとなるよう、両者の定例会開催や積極的な情報交換に努めた。また、PTA の在り方の見直し、組織や活動の精査を訴え、PTA の目的を意識しながら活動することの重要性を啓発し続けた。中学校の PTA 会長としても、地域内の小学校やその PTA との連携の中心的な役割を担い、様々な行事の実施や PTA 会員の意識向上に努めた。常に、地域の中で子どもを育てるということを念頭に置き、どの活動にも誠意をもって取り組んだ。

【山本 道雄 (長崎県PTA連合会 前会長)】

長崎県PTA連合会の会長を4年間務め、コロナ禍において通常の活動が困難な中で、将来を見据えた改革案を組織的に作りあげた。この功績は大きく、現在もこの改革案に基づいた改革が進行中である。

また、長崎大学教育学部の学生に「保護者とのかかわり方」等、PTAに関する講義を行ったり、教員の初任者研修でPTA会長が話す機会を設けるように県教育委員会に働きかけるなど、教師と保護者との関係づくりに尽力し、教育環境の向上に努めた。

【森 百合子 (佐世保市PTA連合会 前会長)】

佐世保市 PTA 連合会において、本部役員の負担を軽減すべく、改革を行った。また、学校や地域との関わりを大切にして、相互理解と連携を深めながら、大人が意識を変え、子どもを中心に、時代に合った関わり方を再構築していくことの大切さを啓発し続けた。

母親目線を大事にしている母親部会の活動に積極的に取り組み、PTA 活動の「目的」「意義」を意識した取組は多くの会員に受け入れられ、市 P 連母親部会主催の「チャリティーバザー」や「音楽祭」の取組は盛況を極めた。